

市議会だより

第155号

2011年9月5日

～ 6月定例議会 ～

会期：平成23年6月15日～平成23年6月28日



「第23回全沖縄子どもエイサーまつり」のチョンダラー

目次

総務財政常任委員会報告2 P	一般質問(山川 仁 議員・外間 剛 議員)11 P
教育民生常任委員会報告3 P	一般質問(佐事 安夫 議員・亀谷 守之 議員)12 P
経済建設常任委員会報告4 P	一般質問(瀬長 宏 議員・金城 吉夫 議員)13 P
一般質問(新田 宜明 議員・儀間 盛昭 議員)5 P	一般質問(赤嶺 一富 議員・大城 吉徳 議員)14 P
一般質問(比嘉 秀雄 議員・仲田 政美 議員)6 P	一般質問(赤嶺 吉信 議員・赤嶺 勝正 議員)15 P
一般質問(新垣亜矢子 議員・照屋つぎ子 議員)7 P	一般質問(當銘 保之 議員)16 P
一般質問(与那覇清雄 議員・照屋 眞勝 議員)8 P	審議結果・編集後記16 P
一般質問(徳元 次人 議員・瀬長美佐雄 議員)9 P		
一般質問(大田 正樹 議員・宜保 安孝 議員)10 P		

詳しい内容についてはホームページをご覧ください。

総務財政常任委員会報告

平成23年度豊見城市
一般会計補正予算
議案第40号
原案可決

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6千762万3千円を追加し、予算総額を188億3千368万1千円とする。

(補正の内容)
中央公民館の修繕費(4千909万6千円)、認可外保育園に対する給食用おかず等、補助(310万2千円)、予備費(1千200万円)が主な内容となっている。

(主な審査内容)
中央公民館の建物については、昨年12月の特殊建築物定期調査でタイルの剝離が確認され、さらに今年の2月には確認された場所以外で剝離・落下があった。今後、予期しない場所での剝離の恐れがあるので、全面的にタイルの撤去と塗装を施していきたい。中央公民館の補修については、緊急事態ということで予算可決後、早急に剝離・塗装作業を実施したい。
給食用おかず補助については、県の補助事

業で今年から始まっており、今回、給食を出している21の認可外保育園に対し、7月からの実施を予定している。
県消防通信指令運営協議会負担金は、事務局の消耗品等の経費で、人件費は含まれていない。

沖縄県町村土地開発公社
定款の一部変更について
議案第47号
原案可決

(理由)
民法の一部改正に伴う関係条文の整理である。

安全安心な市民生活めざす
ため、豊見城市地域防災計画の見直しを求める陳情書
採 択

陳情の主な内容は、地震規模や津波災害危険予測区域の見直し、避難所・避難ルート確保等である。
陳情者から、防災計画を論議して見直し、

教育民生常任委員会報告

平成23年度豊見城市国民
健康保険特別会計補正予算
議案第41号
(第1号)
原案可決

予算総額に歳入歳出それぞれ319万8千円を追加

(主な提案理由)
4月1日付の確定通知に基づき、概算と確定値の変更分の補正

豊見城市国民健康保険税
条例の一部改正について
議案第45号
原案可決

(主な提案理由)
地方税施行令の一部改正に伴い、医療分、支援分および介護分の賦課限度額を73万円から77万円に引き上げるための改正
(主な審査の内容)
平成18年から毎年限度額が引き上げられているのは、介護等に係る費用が年々増えてきているためである。これはいわゆる国保加入者の中間所得・低所得者層の軽減が図れるという大きなねらいがあるとは説明している。
全体の負担を引き上げることではなく、あくまでねらいは、高所得者の方々の賦課限度額を引き上げて税率を上げないようにしようというのが国の理由である。

「子ども・子育て新システム」
に基づく保育制度改革に反対
する意見書提出を求める陳情
採 択

(主な陳情の内容)
中味が十分説明されていく拙速である。児童福祉法第24条にうたわれている公的機関の実施義務が失われる危険性がある。応益負担になり、場合によっては個人負担が増える可能性がある。保育サービスが産業化し、事業者の都合で保育できなくなる可能性もある。

子どもの医療費助成の拡充
を求める陳情
採 択

(主な陳情の内容)
わが国の0歳から15歳の人口に占める割合は約22パーセントである。国として子どもの命、健康、未来を守る義務があり、子どもの貧富の格差を認識し、国は医療費無料化を制度化すべきである。

今の時点で合ったやり方で検討していただきたいとの意見がありました。



総務財政常任委員会の皆さん

就学援助制度の周知・拡充
を求める陳情
採 択

(主な陳情の内容)
沖縄県においては、年収200万円以下の収入しか得ていない皆さんが5割近いというような状況の中で、親の経済事情がどうであれ、子どもたちの学ぶ権利を阻害してはならない。



教育民生常任委員会の皆さん



快適な環境整備を(豊見城団地A棟跡地)

東日本大震災の教訓を
災害に強い
まちづくりに
ついて。市の防災・
減災対策の現状につ
いて伺います。

答 総務課長 去
る3月の東日
本大震災の発生を受
け、都道府県、市町
村で地域防災計画の

問 災害に強い
まちづくりに
ついて。市の防災・
減災対策の現状につ
いて伺います。

答 総務課長 去
る3月の東日
本大震災の発生を受
け、都道府県、市町
村で地域防災計画の

問 前市長らの責任を追求
費の返還問題につ
いて。前市政の三役は、
議会での答弁どおり、そ
の後の責任の取り方につ
いて何らかの意思表示を
したのかどうか。



新田宜明 議員

市民の血税で 補助金を返還

一般質問

答 副市長 12月議会
で前副市長の赤嶺
要善氏がこのように答
えています。「責任のとり
方につきましては、沖縄
県や他自治体でも同様
なことがございますので、
その辺も参考にしながら
断じてまいりたいと思
っております」という
ふうにて答弁をしてお
りますので、しかるべき
時期にきちっと判断を
されるものと考えてお
ります。

問 豊西自治会集会所
用地の市への移
管の見直しについて。

答 経済建設部長 公
社の見直しを始め、
防災対策の再検証が
検討されています。本
市においても、今後、
地域防災計画の見直し
について、上位計画
である県の防災計画
の見直しと整合性を
とりながら取り組ん
でいく方針であります。



津波災害危険予測区域(市防災計画)
瀬長島から豊崎・翁長まで

問 防災無
線通報シ
ステムは、規模、
能力、どれだけの
ものが実現出
来るか。

答 総務部長
次年度実

問 東日本大震災の
被災者に心よりの
お見舞いを申し上げます。
未曾有の大災害、国と行
政が役割を果たし、対応
が求められています。地
震は止められないが、津



儀間盛昭 議員

答 経済建設部長 埋
立地域で気象条件
はきびしいが、可能な
限り地震、津波、台風
対策等、災害に
対応した施設の
検討も進めていき
たい。

問 波被害は防げます。
今回を教訓に市の
防災対策を充
実させるため
伺いたい。
豊崎に建設
する市民体育
館は、屋上
が避難所とな
れる構造に
すべきでは
ないか。

答 経済建設部長 埋
立地域で気象条件
はきびしいが、可能な
限り地震、津波、台風
対策等、災害に
対応した施設の
検討も進めていき
たい。

問 波被害は防げます。
今回を教訓に市の
防災対策を充
実させるため
伺いたい。
豊崎に建設
する市民体育
館は、屋上
が避難所とな
れる構造に
すべきでは
ないか。

安全なまちづくり

問 学校公共施設の
耐震化について、
地震で倒壊が心配
される、優先的に
整備が進むと考
えています。

問 防災計画で津波
の高さ予想、見
直しについて。

答 総務部長 県の計
画をみて準備す
る。

問 学校公共施設の
耐震化について、
地震で倒壊が心配
される、優先的に
整備が進むと考
えています。

問 防災計画で津波
の高さ予想、見
直しについて。

答 総務部長 県の計
画をみて準備す
る。

問 学校公共施設の
耐震化について、
地震で倒壊が心配
される、優先的に
整備が進むと考
えています。

問 防災計画で津波
の高さ予想、見
直しについて。

答 総務部長 県の計
画をみて準備す
る。

問 学校公共施設の
耐震化について、
地震で倒壊が心配
される、優先的に
整備が進むと考
えています。

問 防災計画で津波
の高さ予想、見
直しについて。

答 総務部長 県の計
画をみて準備す
る。

問 学校公共施設の
耐震化について、
地震で倒壊が心配
される、優先的に
整備が進むと考
えています。

問 防災計画で津波
の高さ予想、見
直しについて。

答 総務部長 県の計
画をみて準備す
る。

経済建設常任委員会報告

平成23年度豊見城市
下水道事業特別会計
補正予算(第1号)
原案可決

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それ
ぞれ9千107万2千円を追加し、予算
総額を8億6千376万1千円とする。

補正理由

下水道事業債の補償金免除繰上償還につきまして
は、今後の下水道事業経営における収支改善に資
することから、繰上げ償還の実施に当たって、低
利率な償還債を発行するための予算処置として補
正を行うとの説明でした。

補償金繰上げ償還を実施した場合の効果額は、借
りかえ前利息として2千48万9千37円が、借りか
え後利息319万7千306円となり、1千29万1千731円
が安くなるとの説明でした。

平成23年度豊見城市住宅
地区改良事業特別会計
補正予算(第1号)
原案可決

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それ
ぞれ3千474万円を追加し、予算総額
を5億4千139万1千円とする。

補正理由

来年平成24年度に予定していました市道47号線
整備工事1千501万円と、緑地・児童遊園整備工事
の1千973万円であるとの説明でした。

宜保地区区画整理事業区
域内公園の着工に関する
陳情書
採 択

内容

現在市が、目的外に利用している宜保3号公園
用地を当初計画どおり市民憩いの公園として一
日も早く工事着手するよう求める。

執行部説明

上田小学校のすぐ隣ということで、今現在は職
員駐車場にしていますが、将来的には多目的広場
等を備えた公園を地域の皆さんと協議しながら
つくりたいとのことでした。

上田保育所の安全対策に
ついての陳情
採 択

上田保育所前市道73号線の安全確保、早急な対応
をお願いする。
委員からの意見として、職員や送り迎えする父
母の駐車場の確保が必要である。市の方で地権者
と交渉して確保できないか、門扉についても現在
の位置では大変危険で園内に少し移動できないか
との意見がありました。

内容



経済建設常任委員会の皆さん



備えあれば憂いなし

問 各校区を拠点とした学校・保護者・生徒・地域住民参加の防災訓練を計画しているのか何う。

答 総務課長 校区を網羅し、それぞれで地震発生後の初動対応、安全地点までの避難、炊き出し、運営方法等有効な訓練の実施が期待される。



新垣亜矢子 議員

学校と家庭・地域の連携を

問 市内認可・認可外保育園へ支払われる補助金の園児一人当たりの予算配分と、市からの補助金で認可外園の経営状況がどの程度改善されているのか何う。

答 児童家庭課長 平成22年度決算における認可14園1千613人に対する補助事業費合計16億8千129万8千873円で一人当たり年間104万4千203円、認可外24園850人に対

問 今後、市の防災訓練の一環として開催を検討したい。

答 市内認可・認可外保育園へ支払われる補助金の園児一人当たりの予算配分と、市からの補助金で認可外園の経営状況がどの程度改善されているのか何う。

問 ①国民健康保険税が高すぎて払えないとの声が相次いでいる。市民所得は低くなり病院へ行き遅れ、悪化したケースが寄せられている。



照屋つぎ子 議員

問 ②一番高い国保税の原因は、他市に比べ当初から国保への繰り入れが少ない事にある。国保税引き

答 ①国民健康保険税が高すぎて払えないとの声が相次いでいる。市民所得は低くなり病院へ行き遅れ、悪化したケースが寄せられている。

国保税引き下げは市長の考え方に

する補助事業費合計1千831万2千306円で一人当たり2万1千544円となっております。認可外園の支援を含めての経営状況調査はやっていない。格差は国の施策の中で認可外への支援が殆ど無い事が起因するものだと考えております。全ての児童が平等に保育を受けられる状況になればいいと思うが、十分ではない。平成25年度子ども・子育て新システムの中で市町村裁量分の事業で、支援拡充

が出来ないか検討を考慮しております。

その他の質問

- ・市防災計画（学校就学時）について。
- ・防災ワークショップについて。
- ・座安小、上田小、豊見城中の分離・改築時期について。
- ・学校、公共施設のジオパークシステムへの移行について。
- ・スクールカウンセラーと心の教室相談員について。

短期証の未交付 6月1日現在

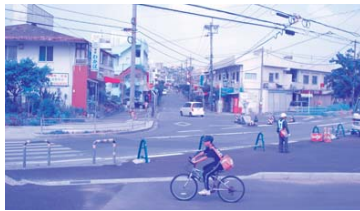
所得階層	件数
50万円以下	558件
50～100万円	191件
100～150万円	111件
150～200万円	53件
200～250万円	23件
250～300万円	12件
300～400万円	12件
400～500万円	4件
500～700万円	3件
700万円以上	2件
合計	969件

答 ①23年6月1日現在短期証の未交付は969件。所得階層ごとの表は左記。

国保年金課参事

- ・上田地域へ児童館建設を。
- ・上田保育園周辺の安全対策を。

答 下げは、市長の考え方で行うことができるもの。一番高い国保税負担の解消を行う考えがあるか何う。引き下げのためには一日も早く、赤字を解消すること、一般会計からの繰り入れを増やす考えはないのか。



豊見城団地市道40号線は早めの信号機設置を

資格証の発行はない。18歳未満は、未交付世帯数91件、子どもの数164人に簡易書留で郵送しました。

市民健康部長 ②国の方針を注視し、国保会計の収支状況も見守り、負担軽減は慎重に検討。短期証の完全交付をめざし、保険証不在の事態を絶対になくすため電話連絡や家庭訪問、嘱託徴収員を活用し交付に努める。赤字が発生しないよう努力をしたい。構造的な原因などで収支が悪化すれば一般会計と繰り入れの協議を行うことになる。

その他の質問

- ・40号線開通は信号機設置後に。



防災無線イメージ写真

問 津波対策として、気象台発表の緊急地震速報や津波警報を自動的に送るデジタル無線の設置が急務だと思うが、②各地域ごとの道路や電柱などに海拔表示



仲田政美 議員

我が市における防災対策について

問 津波対策として、気象台発表の緊急地震速報や津波警報を自動的に送るデジタル無線の設置が急務だと思うが、②各地域ごとの道路や電柱などに海拔表示

答 ①津波対策として、気象台発表の緊急地震速報や津波警報を自動的に送るデジタル無線の設置が急務だと思うが、②各地域ごとの道路や電柱などに海拔表示

問 防災無線は、災害の予報や警報はじめ、迅速な災害情報の伝達、避難誘導など、防災対策上、極めて重要な通信整備です。しかし、本市には津波等を想定した防災無線の整備がなされてなく、低地帯の住民は、災害時における安全対策に大変不安を抱いて

答 総務課長 津波発生時に被害が懸念される地域に対し、いち早く災害や気象情報、避難勧告や指示等の防災情報を伝達することは大変重要であり、その必要性を強く認識しておりますので、今年度の実施計画に防災無線システム整備事業を盛り込み、設置・整備に向けて取り組んでいきたい。



比嘉秀雄 議員

防災無線の早急な整備を

問 東日本大震災後、全国各地の自治体で防災計画の見直しの動きがあります。本市においても、防災対策の充実・強化を図るため、本震災を踏まえ、市防災計画を総点検し、早急な見直しを行うべきだと考え、見解を伺います。

答 総務課長 ご指摘のとおり、今回の東日本大震災クラスの災害発生も想定に入れ、見直し作業を進めてまいりたい。

問 東日本大震災を踏まえ、これからの市政運営や事業執行に当たっての市長の考えを伺います。

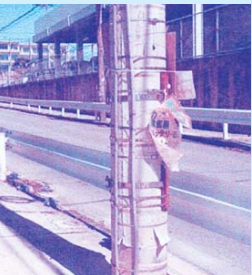
答 市長 防災対策を念頭に置いたまちづくりの推進のため、防災計画の抜本的な見直しをしてまいります。

その他の質問

- ・消防の広域化関連。
- ・台風2号被害関連。
- ・防災訓練。

問 東日本大震災後、全国各地の自治体で防災計画の見直しの動きがあります。本市においても、防災対策の充実・強化を図るため、本震災を踏まえ、市防災計画を総点検し、早急な見直しを行うべきだと考え、見解を伺います。

問 東日本大震災を踏まえ、これからの市政運営や事業執行に当たっての市長の考えを伺います。



海拔表示や避難経路表示で災害に強い街づくりを

詣の深い防災アドバイザーなどの専門家の意見も十分に取られて防災対策、あるいはそのような専門家を招いて防災講座などを積極的に推進してまいりたい。④防災意識の向上や、地域の結束力、また万一の事態に迅速、的確に行動するという意味からも大変有効な提案。地域の皆さんを対象とした避難訓練の実施等を通じ、適切な避難経路の確認、課題となる部分の検証を推進し、より有効な避難ルートの確保に努めたい。

その他の質問

- ・学校の防災対策。
- ・字豊見城跡舎の悪臭対策。
- ・住宅改修への補助。
- ・「豊見城平和の日」制定について。
- ・学校給食費の無償化。
- ・認可外保育園への支援



今後、集客が期待される美らSUNビーチ

課長、自動
償還するこ
とで受給者
漏れの解消



徳元次人 議員

豊崎総合公園施設 について

問 総合体育館建設の進捗状況についてお伺いいたします。

答 都市計画課長 今年度は、現在発注に向けて準備しておりますけれども、基本設計を9月ごろまでには発注をしたいと準備を進めてい

問 豊崎美らSUNビーチをアピールするために、周辺豊崎地内において案内標識を設置する考えはないかお伺いいたします。

答 都市計画課長 今後検討を行い、必要な箇所については関係機関に要請を行っていき

問 医療費助成制度について、3歳以下に係る医療費の自己負担分を自動償還方式に変更する考えがあるかお伺いいたします。

答 児童家庭課長、自動償還することで受給者漏れの解消



瀬長美佐雄 議員

市民の税金で返還 損害金にけじめを

問 法律で決められた税金は、強制的に納税義務を課せられ、徴収されます。市民が苦勞して納めている住民税

答 経済建設部長 市道114号と農道125号線の今後の整備計画を伺いたい。

問 区画整理地区に係る住居表示等を整備する考えはないか伺います。

答 市長 財政状況下で責任を課す立場に立ってこそ今後の市民との信頼関係が築けるのではないかと、再発防止の観点からつけ加えたいと、前副市長が任期中に、しかるべき時期にみずからしかるべき対応をとりたいとおっしゃっておりますのでご理解を願います。



組織的違法行為による返還金を市民が負担

問 区画整理地区に係る住居表示等を整備する考えはないか伺います。

答 市長 財政状況下で責任を課す立場に立ってこそ今後の市民との信頼関係が築けるのではないかと、再発防止の観点からつけ加えたいと、前副市長が任期中に、しかるべき時期にみずからしかるべき対応をとりたいとおっしゃっておりますのでご理解を願います。



中心市街地代替事業が予定されている地域



与那覇清雄 議員

那覇自動車道の高架下 利用について

問 ①全国の高速度道路の高架下は多くが駐車場、児童公園、スポーツ広場などに整備されているが、豊見城市でも有効利用することで地域活性化へと繋がるのでは。②平成21年度に国道331号線バイパスの高架下に公共駐車場を整備する「豊崎国道高架下公共駐車場事業」が計画された

答 振興開発課長 現時点で高架下の利用については検討はしていない。②将来高架下が改変される可能性があるため整備は行っていない。今後の検討課題としてい

問 平成5年度に中心市街地土地区画整理事業が決定されたが、平成20年度に国交省から中止が発表されている。その後中心市街地代替整備が計画された区画整理事業も大幅に縮小されたが、その縮小面積と理由を伺う。また、現在の進捗状況

答 経済建設部長 平成5年度に



照屋貞勝 議員

返還金問題の 再発防止に向けて

問 ISO取得は有効だ。未然防止、再発防止の部分があることを聞いて過日、議会有志でその勉強会を実施しました。

答 区画整理地区への導入に当たっては、現状の弊害の有無及び程度並びに住居表示の導入による住民生活への寄与について費用対効果も十分考慮した上で検討する必要があります。その他の質問

問 区画整理地区に係る住居表示等を整備する考えはないか伺います。

答 市長 財政状況下で責任を課す立場に立ってこそ今後の市民との信頼関係が築けるのではないかと、再発防止の観点からつけ加えたいと、前副市長が任期中に、しかるべき時期にみずからしかるべき対応をとりたいとおっしゃっておりますのでご理解を願います。

問 道路が極端に狭く危険な状態の市道114号と農道125号線の今後の整備計画を伺いたい。

答 経済建設部長 市道114号線の道路整備は予定していないが、今後調査・検討していく。農道125号線の市道認定に

問 農道125号線の市道認定に

答 人事課長 ISOの取得により、業務の改善、接遇の向上、苦情や要望処理の対応等に一定の効果が報告されています。一方認証取得の導入経費や取得に向けた書類の整備に多大な労力を費やしており、本市のISO取得については職員



「市民の役に立つ所が市役所」であってほしい



危険度の高い豊崎地域の交差点

問 豊崎幼稚園小学校開校前に信号機・スクールゾーン等、交通環境整備を早急に取り組む必要があると思うが何う。

答 市長 児童・生徒の安全確保の観点から豊崎地区の大きい交差点には信号機・スクー



山川 仁 議員

豊崎地域の安心・安全対策について

ルゾーン等の整備は大変重要であると認識しており、関係機関に対して早急に整備をすすめるよう強く要請してまいります。豊見城警察署署長には口頭ではありますが必要性を訴えて協力の要請をしております。また文書等で県警にしっかりと要請していききたいと思います。

問 幾度にもわたって要請をしている字瀬長の未舗装道路部分(市道151号線)の今後の執行について何う。

答 経済建設部長 未舗装区間につきましては、現場を確認しましたところ、整備の必要箇所という認識をしております。工事費が

問 中心市街地代替整備事業の今後のタイムスケジュールについて何います。

答 経済建設部参事監 ます6月18日開催予定の公聴会は意見



外間 剛 議員

中心市街地代替整備事業について

問 非婚母子・父子世帯に寡婦控除みなし適用を今後対応していく必要があると思うが何う。

答 児童家庭課長 生活に困窮している

問 核家族化や少子化の進展により、祖父母や親からの育児・子育ての仕方を直接学びにくくなった今、我が豊

問 子育てについて



宜保 安孝 議員

親が変われば、子どもが変わる

問 防災について

答 総務課長 現在事

問 災害時の緊急対応として、市内各種団体との取組があるか何う。

答 総務課長 現在事

幾らかかるかと確認し、市内全域の状況もかんがみつつ、できるだけ早い時期に舗装を実施してまいりますと考えております。

問 観光は自主財源を確保する手段

答 観光協会設置の意向について何う。

答 企画部長 来年



緊急時に対応出来るよう準備をしておけば、建設車両も放水車としての能力は十分にある



大田正樹 議員

先を見据えた仕組みづくりを

問 本市にはたくさん文化遺産があります。市制施行10周年にあたり、市の宝である子ども達に市の歴史、文化、偉人などを伝え、住んでいる地域に誇りや自

答 学校教育課参事 10周年事業で、新

信を植えつける副読本を学校道徳教育の一環として整備する考えがないか何う。

答 学校教育課参事 10周年事業で、新

画に副読本を作成する計画は、現在のところありませんが、子ども達が自分の住む地域を知り、誇れるよう、歴史、文化、道徳、各教科、総合的な学習時間の授業を工夫できないか研究していきたいと考えております。

問 隣接の本市は、将来にわたりのような役割を担っていく考えがあるか何う。

答 企画部長 県

問 産業振興について

答 空港隣接の本市は、将来にわたりのような役割を担っていく考えがあるか何う。

問 核家族化や少子化の進展により、祖父母や親からの育児・子育ての仕方を直接学びにくくなった今、我が豊

問 子育てについて



宜保 安孝 議員

親が変われば、子どもが変わる

問 防災について

答 総務課長 現在事

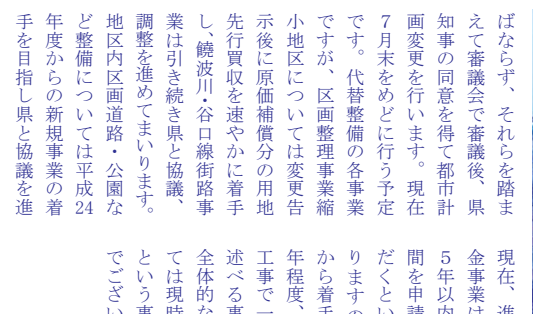
問 災害時の緊急対応として、市内各種団体との取組があるか何う。

答 総務課長 現在事

問 中心市街地代替整備事業の今後のタイムスケジュールについて何います。

答 経済建設部参事監 ます6月18日開催

の申出者がなく開催しませんでした。また、代替整備の都市計画決定変更手続きは6月14日から28日迄の予定で都市計画案を縦覧中です。縦覧期間中、市民及び利害関係者は市に対し意見書を提出する事ができ、意見が提出された場合、市は豊見



変更が待たれる中心市街地

問 平成24年度から着手を目指す中で、実施設計、工事着工から完了まで何年ぐらいを考

答 経済建設部参事監

ばならず、それらを踏まえて審議会で審議後、県知事の同意を得て都市計画変更を行います。現在7月末をめぐり行う予定です。代替整備の各事業ですが、区画整理事業縮小地区については変更告示後に原価補償分の用地先行買収を速やかに着手し、鏡波川・谷口線街路事業は引き続き県と協議、調整を進めてまいります。地区内区画道路・公園など整備については平成24年度からの新規事業の着手を目指し県と協議を進



親が学ぶ機会の充実を

割・世帯別平等制・資産制の合算による四方式と呼ばれる町村型より、資産制を除いた三方式と呼ばれる中

問 本市で行われてきた所得割・均等

問 国保事業について

答 市民健康部長 資産制を廃止した場合の減収分をどのように補うのかという問題がございます。税率を変更した場合の影響額等を十分に研究し、市民にとってよりよい賦課方式を検討してまいりたいと考えております。

問 その他の質問

- ・農道整備について。
- ・防災計画について。
- ・漁業と観光について。
- ・企業誘致について。
- ・豊崎地域の商工会加入率について。
- ・学校二期制について。



市民が住民監査請求を行う

使用の全容を明らかにしようとするのか。市長は説明責任を果たす上でこのあり方についてどう思うのか。需用費8千796万円について、皆さんが提出してきた資料は、

答 総務課長 5月28日午後3時に災害



金城吉夫 議員

問 台風2号襲来時の危機管理に関して、市民から謝意が届いている。防災対応について伺う。

警戒本部会議を開催し、避難場所として市役所、市社会福祉センターを開設し、水、乾パン、毛布等を準備した。市災害対策本部は29日午後1時30分に解散した。5月28日、29日における職員の出動数は106名です。数年ぶりに本島を直撃した猛烈な台風で、市内被害も多数に及ぶ中、現場対応に従

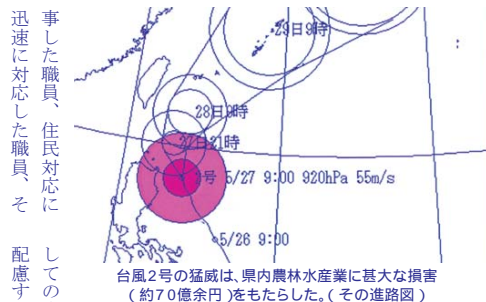
問 環境行政について
本年4月策定のごみ処理基本方針で5Rを明確に打ち出しているが見解を伺います。

答 振興開発課長 関係部署と検討しますが、入島料の徴収は厳しいと考えます。
問 瀬長島の環境保
全のため、入島料を徴収する考えは、見解を伺う。

答 振興開発課長 関係部署と検討しますが、入島料の徴収は厳しいと考えます。

台風2号への防災管理は万全な態勢

予け、差しかえについては88件の支出命令書があり、しかしそのうち48件は、その内容については把握できませんでしたという資料を出してきました。そして他署配分7千300万円については、平成15年から平成17年は資料がないため納品先を特定できないので、どの課にいったのかさかわかりません。どういったのが納品されたのか、消耗品であれば等価なのか照合できない、突き合わせができないと答弁されており、市長はその辺について、使途不明がいろいろ問題に上がっているところで、指示を出して詳細をつかむ努力をされたのか。



答 生活環境課長 基本計画では循環型社会の構築に取り組み中で、リデュース、リデュース、リペア、リサイクルの考えのもと5Rを推進しております。主に環境を主眼とした理念で、消費活動としての廃棄物の減量化も配慮する意味で5Rを提起し、5Rを特に重視しました。市民、事業所、行政の役割分担のもと、継続して循環型社会の構築に取り組みします。



佐事安夫 議員

就学援助制度の内容改善と充実を

問 家庭の経済的状況の悪化で、就学援助を受ける児童生徒が全国的に増加しています。市の受給状況、周知の方法で所得基準を載せること、申請の方法で様式を簡略に、添付書類も簡略化できないか。給付内容の改善でクラブ活動、生徒会費、PTA会費、めがね、卒業アルバム代を対象に医療病名に喘息、アトピー性皮膚炎を加えることはできないか。

答 学校教育課長 平成22年度の要保護は小47名、中38名計85名、要保護は小37名、中21名、計68名、認定率は10・82%、目安の所得額の記載の検討は那覇市が表を掲載している。調査研究しながら市独自の手法はないか検討したい。様式の簡略化は平成22年度までは15項目を掲げました。今年度から経済的理由で就学困難であることを記入すれば申請できる様式に改めた。添付書類は住民票謄本を今年度から省略した。給付内容の改善は財政事情等から他市町村でも対象としてい

問 文化財保護の充実を
文化財表示支柱の設置状況は。長嶺、平良、保栄茂グスクをどういう形で保存していくか。市指定文化財を増やす計画はないのか。
答 文化課長 表示支柱の設置は、木柱19本、ステン製33年、木製の腐食が進み、毎年6本の立てかえを行ってま

す。長嶺、平良、保栄茂グスクは現状保存が望ましいが地元自治会から要請があれば話し合いたい。本市は4件を市指定。今後は発見、発掘に努めたい。
その他の質問
・生保受給者への対応。
・火葬場事業の進捗。
・養護老人ホームの入所・嘉数水兼道路の管理。



整備が必要な長嶺グスク

問 豊見城団地内の市道27号線・市道47号線・市道40号線が交差する交差点の改善について伺います。(ア)M2棟側とM3棟側を結ぶ横断歩道への街灯設置について、当該交差点には専用の街灯がありません。交通事故を未然に防止し、住民の安心・安全を確保することも公的機関の使命であると思しますので、

側コーナを緩やかなカーブ型に改修することについて。次に、市道27号線の交差点側(ウ)新たな歩道の設置について。次に、当該交差点には専用の街灯がありません。交通事故を未然に防止し、住民の安心・安全を確保することも公的機関の使命であると思しますので、

答 市営住宅課長 (ア)については、今年度、市道47号線の道路整備工事を予定しております。この中で横断歩道の設置は予定しておりませんが、街灯の設置予定はございません。次に(イ)については、今年度の道路整備工事の中で緩やかなカーブに考えております。次に(ウ)については、市道28号線の出入口と横断歩

道部分が重なり、歩行者の安全確保が困難なことから、新たな横断歩道の設置は予定しておりません。次に(エ)については、現在のところ街灯の設置計画はございません。今後、交差点整備を行う中で、再度道路街灯の必要性について検討していきたいと思います。また、地域自治会に対する補助により、防犯灯を設置するやり方なども地域の自治会と相談していきたいと思います。

問 交通安全対策について
市道27号線・市道47号線・市道40号線が交差する交差点の改善について伺います。(ア)M2棟側とM3棟側を結ぶ横断歩道への街灯設置について、当該交差点には専用の街灯がありません。交通事故を未然に防止し、住民の安心・安全を確保することも公的機関の使命であると思しますので、

答 市営住宅課長 (ア)については、今年度、市道47号線の道路整備工事を予定しております。この中で横断歩道の設置は予定しておりませんが、街灯の設置予定はございません。次に(イ)については、今年度の道路整備工事の中で緩やかなカーブに考えております。次に(ウ)については、市道28号線の出入口と横断歩

道部分が重なり、歩行者の安全確保が困難なことから、新たな横断歩道の設置は予定しておりません。次に(エ)については、現在のところ街灯の設置計画はございません。今後、交差点整備を行う中で、再度道路街灯の必要性について検討していきたいと思います。また、地域自治会に対する補助により、防犯灯を設置するやり方なども地域の自治会と相談していきたいと思います。

答 市営住宅課長 (ア)については、今年度、市道47号線の道路整備工事を予定しております。この中で横断歩道の設置は予定しておりませんが、街灯の設置予定はございません。次に(イ)については、今年度の道路整備工事の中で緩やかなカーブに考えております。次に(ウ)については、市道28号線の出入口と横断歩

道部分が重なり、歩行者の安全確保が困難なことから、新たな横断歩道の設置は予定しておりません。次に(エ)については、現在のところ街灯の設置計画はございません。今後、交差点整備を行う中で、再度道路街灯の必要性について検討していきたいと思います。また、地域自治会に対する補助により、防犯灯を設置するやり方なども地域の自治会と相談していきたいと思います。



安全対策が望まれる団地内交差点



西海岸活性化が期待される与根地域

施設実現のため、観光資...

問

豊見城西海岸地域活性化について...



赤嶺吉信 議員

西海岸地域の活性化

答

豊見城西海岸地域活性化について...

観光地域指定について...



赤嶺勝正 議員

観光地域指定について

観光地域指定を受け豊崎地区は...

道路行政について...

経済建設部長 取組み状況として...

農業政策について



赤嶺一富 議員

①遣伝子組み換えのパイヤ台農5号の作付について...

②今後の当該品種の生産出荷について...



肥培管理された大豆

農林水産課長 ①の(ア)生産者及び(ウ)の出荷実績は...

分や苗の配付に対して支援を行う予定でござい...

協働と交流によるまちづくりについて...

国民健康保険証の個人カード化へ...



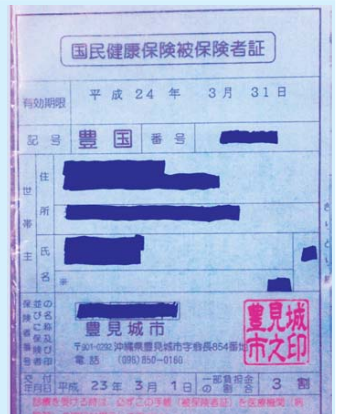
大城吉徳 議員

国民健康保険証の個人カード化へ

鏡波川の整備について...

鏡波川の整備について...

鏡波川の整備について...



国民健康保険証が次年度個人カード化へ



温泉宿泊建設事業が進められる瀬長島

瀬長島の有効利用を 早期に図れ



菅銘保之 議員

問

瀬長島温泉宿泊施設建設事業の進捗状況並びに開業時期、雇用計画について伺う。

答

管財検査課長 建設事業については、敷地内の測量、磁気探査を行い、今年の8月上旬に建築工事に着手し、来年7月に完成させ、開業は8月末に予定している

この事である。雇用計画については、新規の雇用人数は100名程を予定しており、出来るだけ市内在住者を採用したいとの事でありませう。

運動施設等は市民が等しく利用出来る場所へ

問

市民総合体育館建設計画の進捗状況と建設位置変更の可否について伺う。

答

都市計画課長 市民総合体育館は、豊崎総合公園内の一角に建設を予定しており、平成26年度の完成を目標に今年度は設計業務を発注し、市民の意見を反映させながら、施設内容や規模等について関係機関、関係部署と調整を図り進めていきたい。

建設位置の変更

については、高台地がよいとは考えますが、体育館建設の実現性から、現在計画中の豊崎総合公園事業の中で国庫補助事業として計画しており建設位置の変更は考えていない。

台風被害者への支援強化を

問

去った5月28日と29日の台風2号による被害状況と被災農漁業者に対する救済策等、今後の具体的な対応策を伺う。

答

農林水産課長 台風2号による本市の農産物被害については、総額で1億6千973万円。内訳は作物被害が8千886万円、施設被害が8千87万円という被害報告を受けております。被災者への救済措置等、今後の具体的な対応策については、沖縄県振興開発金融公庫の公庫資金による制度資金の利子助成について、県で決定後、本市でも対応する予定となっております。

平成23年 第5回豊見城市議会定例会(6月議会)審議結果

Table with 4 columns: 議案番号, 《予算案》件名, 経過, 結果. Contains items like 平成23年度豊見城市一般会計補正予算(第1号).

Table with 4 columns: 議案番号, 《条例案》件名, 経過, 結果. Contains items like 豊見城市税条例の一部改正について.

Table with 4 columns: 議案番号, 《その他議案》件名, 経過, 結果. Contains items like 沖縄県町村土地開発公社定款の一部変更について.

Table with 4 columns: 議案番号, 《請願・陳情》件名, 経過, 結果. Contains items like 「子ども・子育て新システム」に基づく保育制度改革に反対する意見書提出を求める陳情.

Table with 4 columns: 議案番号, 《意見書・決議》件名, 経過, 結果. Contains items like 「子ども・子育て新システム」に基づく保育制度改革に反対する意見書.

編集後記

子ども達が、夏休みに入った最初の土・日「第4回豊見城ハッピー大会」が、豊崎美らSUNビーチにて、盛大に開催されました。

市民の部26チーム、職域の部41チーム、総勢1千名余の漕ぎ手が参加した大会は、二日間熱戦が繰り広げられ、我々18期議員も、豊見城市議会チームとして市民レースに出場しました。

結果は、残念ながら予選落ちとなりましたが、日頃、政治理念やイデオロギーで相反する議員同士が、同じ船に乗り、力を合わせて漕ぎ出す仕事は、新しい市議会の在り方を予感させるような気がしました。さて、去った6月定例会は、東日本震災後の議会となり、23名中11名の議員が、「防災」に関する一般質問を行っております。

東北の震災から、我々は何を気付き、何を学ぶのか自治体は、今後起こりうるであろう災害に対し、どう向き合っていくべきなのか「防災」や「減災」のテーマに、与・野党の隔たりはなく、一市民の目線で多に議論されました。

ひと・そら・みどりがつながる響(とよ)むまち とみぐすく 豊見城市」という市長が舵取る「豊見城市」という名の船に乗る者として、皆で力強く漕ぎ、市民にとって身近な存在、開かれた議会を、目指さなければならぬとあらためて感じました。その為にも編集委員会、今後とも試行錯誤しながら、市民の皆さんが興味を持ち、読みたいと思う「議会だより」を、届けていきたいと思っております。

大田 正樹